平成２３年度　京都市予算案　事業概要

北区役所

事務事業名	北区猿害対策事業		
予　算　額	３，２００千円	新規・継続の別	新　規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部まちづくり推進課　（４３２－１２０８）		

［事業実施に至る経過・背景など］

北区では，近年，サル，シカ，イノシシをはじめとする野生鳥獣による農林作物の食害等が極めて深刻化しており，農業者や林業者の経営を圧迫し生産意欲の減退を招いている。

とりわけ，サルについては，農作物への食害に留まらず，市街地に出没し，住宅敷地内への侵入，児童公園への徘徊等が頻発するなど被害の状況も多様化しており，高齢者や女性，子ども等をはじめとする弱者への威嚇や，民家への侵入，食料品のひったくり被害等，市民の安全を脅かす状況へと発展する可能性が極めて高いと想定される。

そこで，サルの生態調査等に取り組む大学や団体，有識者等との連携を図り，北区におけるサルの行動エリア，行動パターンや効果的な追い払い対策を模索するとともに北区に出没するサルに関する対策ネットワークを構築し，出没情報，防除対策，追い払い方法等を地域住民に適宜発信する仕組みづくりを進める。

また，サルの行動エリア内にある老健施設，保育園，小学校等，高齢者や子どもをはじめとするいわゆる弱者を抱える施設における安全対策を図り，人的被害を未然に防止する。

［事業概要］

群れにいる一部のサルに電波発信機を取り付け，群れが頻発して出没する地域に受信アンテナを設置することにより，サルの群れが接近した場合，携帯電話のメール等により近隣地域住民や施設にいち早く知らせ，各戸で猿害の予防措置をとることができるようにする。

また，地域住民との協働によって，接近時に花火等で追い上げ行動を実施することにより，サルの群れが寄り付かない地域づくりを目指す。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

上京区役所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">洛中洛外図の世界が甦る～観光案内ボランティア（上京の歩く語り部）の育成～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">３，000千円</td><td>新規・継続の別</td><td>新規</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">区民部総務課（441－5029）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

平安時代末期から「上辺（かみわたり）」と表現されてきた上京。現在の上京区は，平安京の大内裏があった地域であり，源氏物語が描かれた地域でもある。また，茶の湯，能楽，連歌など和文化の源流ともなった室町時代，利休や秀吉，激動の幕末から明治維新など，上京区には日本の歴史と文化が深く刻み込まれている。

このように，上京区には長い歴史に培われた歴史的観光資源があるにもかかわらず，その多くが視覚で確認できないため，観光で訪れた方はもちろんのこと，地域住民でさえ知らないことが多いのが現状である。

そこで，こうした時代の流れを分かりやすく解説する観光案内ボランティアとして「歩く語り部」を育成し，上京区の魅力を再発見する「まち歩きツアー」を実施する。

［事業概要］

１　シナリオコンテストの実施

区内の「まち歩き」をテーマに，誰でもコース案内ができるシナリオを募集する。入賞作品はホームページで公開し，まち歩きマップとして提供する。

２　情報提供システムの開発

携帯端末等からアクセスすることで，洛中洛外図の世界をはじめ，区内の史蹟等の情報を画像と文章で閲覧できる情報提供システムを（財）京都高度技術研究所と共同で開発し，まち歩きの案内用ツールとして活用する。

３　まち歩きツアーの実施

区内で上京区の魅力発信に努めている団体，個人，ＮＰＯ法人などとの協働で，上記のシステムを活用したまち歩きツアーを実施する。また，ツアーの実施に当たって，観光案内ボランティアの育成を図る。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

携帯端末等で情報を提供するシステムは民間企業等で既に実施されているが，まち歩きを念頭にしたシステムとすることで差別化を図っていく。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

左京区役所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">静原地域のまちづくり</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">１，500千円</td><td>新規・継続の別</td><td>継　続</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">区民部まちづくり推進課（771－4246）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

貴船・鞍馬と大原の間に位置する静原地域は，里山の原風景を残す自然豊かな地域であるとともに，多くの社寺を有する歴史と文化に彩られた魅力ある地域である。しかし，隣接する貴船・鞍馬や大原のようにゆっくりと滞在して楽しむ観光地としての整備はまだまだであり，また，少子高齢化などの課題も抱えている。

この地域が「自治・自立」による「魅力を生かしたまちづくり」に取り組んでいただく「きっかけづくり」のため，話し合いの中から有効な事業を検討，展開し，継続可能で地域のＰＲに有効な事業を検討する。

［事業概要］

平成２２年度：予算額　８００千円

- 「我がまちを知る」をキーワードに地域の活性化に寄与し，地域住民主体で実施できる取組や事業をワークショップで検討
- 地域の魅力を見直すためのまち歩きの実施

平成２３年度：予算額　１，５００千円

- **「やってみる」をキーワードに，集客が期待できるイベント等を実施し，継続可能で地域のＰＲに有効な事業を検討**

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

左京区役所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">高齢者にやさしい店事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">800千円</td><td>新規・継続の別</td><td>継　続</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">福祉部支援課（771－4289）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

認知症についての理解を深め，認知症の人とその家族を地域でも支えるため，高齢者が利用しやすい店舗づくりを進める「高齢者にやさしい店」事業を平成２１年度から展開している。

［事業概要］

平成２３年度は「高齢者にやさしい店」登録店の更なる増加を図るために，「認知症サポーター養成講座」の開催数を増やす。また，「高齢者にやさしい店」ステッカーの知名度を上げて事業の周知を図る。更に，登録店一覧の冊子とホームページの更新を行うとともに，登録店に対し事業の効果や今後の事業展開に関するアンケートを実施する。

平成２１年度：予算額　１，０００千円

- 登録店舗数　５９店
- 「認知症サポーター養成講座」参加者数　１２４名
- 認知症に関する街頭アンケートの実施

平成２３年度：予算額　８００千円

- **登録店舗数　１００店（目標）**
- **「認知症サポーター養成講座」の開催**
- **「高齢者にやさしい店」登録店に対するアンケート**

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

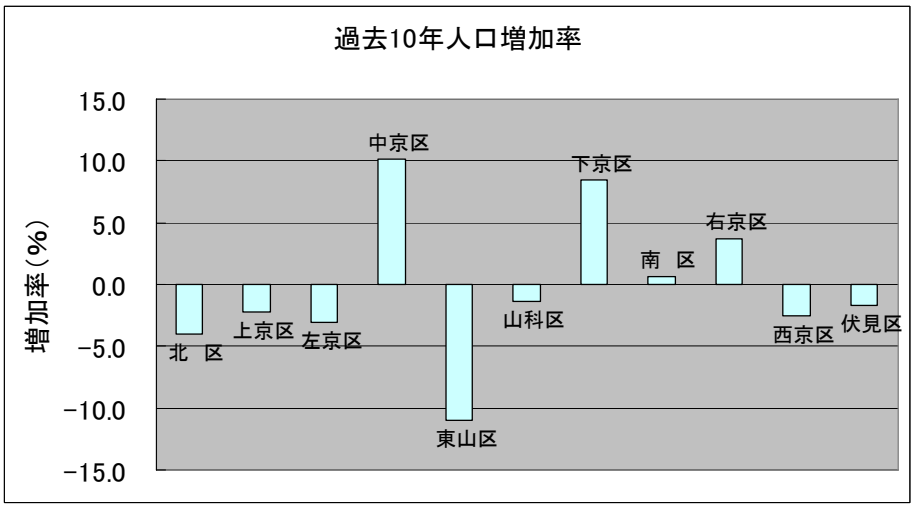
平成２３年度　京都市予算案　事業概要

中京区役所

事務事業名	中京区まちづくり次世代推進者共育支援制度		
予　算　額	1，000 千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部まちづくり推進課　（812－2426）		

［事業実施に至る経過・背景など］

中京区では平成 7 年度以降人口が大変増加しており，平成22年度と平成12年度の国勢調査等のデータの比較では人口増加率は10．1パーセントと，人口が横ばい又は減少している行政区も多い中にあって飛び抜けて高い数字となっているが，人口の増加がそのまま地域力の維持・向上に繋がっているとは言えないのが現状である。また，地域自治組織の代表者に対して行った地域活動等に関するアンケート調査においても，次の世代リーダーや中心メンバーの育成が必要という回答が多いという結果が出ており，地域活動の担い手を育成することが重要な課題となっている。



［事業概要］ 平成 21 年度～23 年度継続事業　予算総額　2,500 千円

- 次世代のまちづくり活動を推進する担い手育成を目的とした「まちづくり仕掛け人養成講座」を開講し，まちづくりの事例研究や地域の抱える課題についての討議等を行う。
- 講座の中で受講生にまちづくり事業を企画させ，その企画の中に区民ニーズが高いと認められるものがあれば，中京区が事業費の助成等事業実施に向けたサポートを行う。

（平成 21 年度に講座プログラムを開発・試行し，**22，23 年度は講座の運用及び受講生サポートを継続して行う。**）

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

中京区役所

事務事業名	人口増加に対応した地域活動の支援事業		
予　算　額	500千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部総務課（ 812－2421 ）		

［事業実施に至る経過・背景など］

区内では，近年のマンション増加により人口が増えている中で，地域において住民間の交流・融合が必ずしも円滑に進んでおらず，地域活動に支障を及ぼしている状況が見受けられる。

このため中京区においては，自治会等の関係者が地域住民への対応について学区を越えて情報交換し，新たな取組を生み出すことができるよう，平成２０・２１年度に「地域とマンションの交流に関する情報交換会」を開催してきた。また，情報交換会において話し合われた情報等を取りまとめ，地域が実際に活動を展開する際の参考とするための報告集を作成した。この成果を踏まえ，個々の地域が実際に新たな取組を具体化して実施できるよう，平成２２年度はパイロット地域を選定し，地域の関係者とともに交流事業を検討している。

［事業概要］

平成２３年度は，パイロット地域における具体的な事業のプラン（平成２２年度中に策定）に基づく「地域とマンションの交流事業」を支援する。

１　交流事業検討会の継続

平成２２年度のパイロット地域において，平成２３年度中の「地域とマンションの交流事業」実施に向けて，引き続き地域の関係者とともに交流事業の検討会を開催する。

２　「地域とマンションの交流事業」の支援

パイロット地域における，具体的な事業のプラン（平成２２年度中の検討会で策定）に基づく「地域とマンションの交流事業」の実施を支援する。

３　活動報告集の更新

地域が新たに事業を実施する際により効果的なものとなるよう，これまでの情報交換会の報告集に，事業検討会及び交流事業の取組内容等を追加して更新する。

平成２０年度：５００千円　　平成２１年度：５００千円　　平成２２年度：５００千円

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

新たな取組を展開することにより，パイロット学区における円滑な住民交流，地域活動の更なる活性化を目指すとともに，効果的な取組として，対応に苦慮している学区や地域の参考事例となることを目指す。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

東山区役所

事務事業名	「東山こどもまちづくりスト」事業		
予　算　額	１，500千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部まちづくり推進課（561－9114）		

［事業実施に至る経過・背景など］

東山区では，少子高齢化が著しく，まちづくりの担い手不足や地域コミュニティが希薄化しつつあることが課題となっている。

そこで，子どもたちが『仮想のまち』体験イベントとその準備作業を通じ，まちづくりについて興味を深め，未来のまちづくりの担い手として育成を図る。

これにより，各種団体等の活動や地域に対する理解を深めるとともに，東山区民の区に対する愛着心の高揚を図り，区民相互の交流とふれあいを深める。

※　『仮想のまち』とは，職業体験を通じ，勤労観等を育むだけでなく，子どもたちが主体となって，ワークショップやフィールドワークを行い，道路や町内会，商店などまちの暮らしに必要なものやルール，イベントなど，暮らし全般について子どもたちが考えて作り上げた，“自分たちが住んでみたいまち”で自治活動や職業体験を行うなど，まちのあり方を総合的に考え，実際に運営体験を行うものである。

［事業概要］

○準備段階：　開催の準備作業としてリーダー的役割を果たす小学４～６年生を選び，ワークショップ形式でまちの設計や働きたい店の検討，まちでのごみの出し方といったまちや暮らしのルールづくりなどを子どもたち自身で考えて行う。

○開催当日：　区役所や警察などの公共機関の役割や飲食店やサービス業などでの就業活動，消防団，体育振興等のコミュニティ活動などの体験を行う。併せて，働いた給料で納税や買い物，食事をするなど，社会人活動全般についての体験を行う。

○特設コーナーの設置：　現実のまちづくりの魅力や課題についても学んでもらえるように，親子まち歩きなどを通じ，地域行事・景観・伝統産業など，身近なまちづくりに係るテーマについて調査し，その成果を『仮想のまち』の特設コーナーで発表する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

山科区役所

事務事業名	～皆で灯そう「陶灯路（とうとうろ）」！～ 「陶灯路」魅力発信プロジェクトの実施		
予　算　額	900千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部総務課（592－3066）		

［事業実施に至る経過・背景など］

山科区では，ＮＰＯ法人おこしやす“やましな”協議会などの地元団体と行政が一体となって，山科の魅力を全国に発信するため，様々な取組を展開している。

その中でも山科の伝統産業である清水焼の器に水を張り，中に切リ子硝子のグラスを置き，その中にカップろうそくを灯し，その器を並べていく灯りイベント「陶灯路」が，京都橘大学や清水焼団地協同組合により生み出され，山科観光の一つの起爆剤として注目されている。

［事業概要］

平成２３年度において，観光客の誘致や伝統工芸の発展，更には市営地下鉄の増客を図るため，「陶灯路」を自分で制作し，家庭で楽しむほか，区内で開催されている「京都・やましな観光ウィーク」などの観光イベントにおいて飾り，見て楽しむとともに，「陶灯路」の存在を区内外にＰＲする「～皆で灯そう「陶灯路」！～「陶灯路」魅力発信プロジェクト」を実施する。

１　「ｍｙ陶灯路」の制作

自らが絵付けした世界に一つしかない「陶灯路」を制作し，家庭や観光イベントにおいて飾り，見て楽しんでもらうことにより，「陶灯路」の魅力を体験する。

２　「陶灯路」の魅力発信

「陶灯路」の魅力を区内外に発信するためのパネル作成等の広報活動を実施する。

３　「ｍｙ陶灯路」の持参（光のイベントサポーター事業）

家庭にある清水焼の陶器を「陶灯路」に仕上げて，区内で開催されている「京都・やましな観光ウィーク」などの観光イベントに持参し飾るサポーターを募集し，観光イベントの更なる活性化を図る。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

山科区役所

事務事業名	山科区獣害対策チームの運営		
予　算　額	２，500千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部まちづくり推進課（592－3088）		

［事業実施に至る経過・背景など］

山科区においては，平成１７年度，ニホンザルの群れ（京滋１群）が区内に頻繁に出没し，大きな被害をもたらしたことを受け，山科区猿害対策チームを立ち上げ，追い払いなどを行ってきた。隣接する大津市においても一定，対応をされたこともあり，サルの出没回数は減少しているものの，依然として出没及び被害が続いている。

加えて，近年は特に，イノシシやシカの出没及び被害が増加しており，懸念されていた人的被害も相次いで発生したことから，喫緊の対応を求められている。

このため，平成２２年度内には，従来からサルの追い払いについて活動をいただいている「山科区猿害対策チーム」にイノシシやシカ等にも対応していただけるよう体制を整え，名称についても「山科区獣害対策チーム」と改める。

［事業概要］

平成２３年度以降は，山科区獣害対策チームの活動を支援するため，次の事業を実施する。

１　講師を招いて，サルやイノシシ，シカ等についての知識を深め，防除の在り方を学ぶ。

２　従来から設置していた小型の檻に加え，中型及び大型檻を設置する。

※　中型及び大型の檻は，警戒心の強いサルの捕獲に有効で，かつ，家族やグループごとに行動するイノシシについては複数頭の捕獲が可能である。

３　繰り返し生活被害を受けている地域又は住宅をモデル地区として，フェンスやネットを貸し出し，効果を検証する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

大型檻による捕獲の様子

＜サル＞

＜イノシシ＞

＜シカ＞

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

下京区役所

事務事業名	下京歩歩(ぽっぽ)塾事業		
予　算　額	１，000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部総務課（371－7163）		

［事業実施に至る経過・背景など］

下京区では，現在，各学区自治連合会をはじめ，体育振興会，シルバークラブ連合会等の各種団体による「歩こう会」，ウォーキング活動が積極的に取り組まれている。

また，かねてより，「下京まちなみ散歩」，「下京ぶらり見て歩き」等のマップの作成や，「歩く下京時遊自在」を発行するなど，「歩く下京」の推進に様々な取り組みを行ってきた。

［事業概要］

「下京歩歩（ぽっぽ）塾」は，「ＩＴ活用歩数計」を装着して参加者がウォーキングしたデータをパソコンに取り込み，集計，分析し，大学研究室と連携して科学的根拠に基づいた運動処方を実施する。また，個々人に応じたアドバイスを盛り込んだニュースレターを発行する。

１８歳以上の下京区民で毎日歩数計をつけて歩行し，１ヶ月に１回データ集計拠点に集計に出向いていただける方等を条件として，２３年度は２００名を定員に参加者を募集する。

事業の運営推進は，区民，大学研究室，ＮＰＯ法人京都健康体力リサーチセンター，区役所で構成する下京歩歩（ぽっぽ）塾運営委員会が当たることとしている。

この取組を進めることで，「歩く」ことを通して，「歩くまち京都」・地域健康づくりの推進，生きがいづくり，生活習慣病の予防，地域コミュニティの活性化，防災意識の向上など，多様な住民課題の解決に向け総合的に取り組んでいく。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

南区役所

事務事業名	南区民健康づくり推進事業		
予　算　額	700千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	保健部健康づくり推進課　（ 681－3573 ）		

［事業実施に至る経過・背景など］

「肥満」，「メタボリックシンドローム」に加え，「喫煙」，「運動習慣がない」，「脂肪や塩分の多いものを好んで食べる」といった習慣は，糖尿病などの生活習慣病になりやすく，健康上の課題となっている。

平成２１年度から各区保健センターを中心に「健康づくりサポーター養成事業」が展開され，南区でも「健康づくりサポーター（みなみ～ず）」が誕生し，運動などの面から，区民の健康づくりを自主的に支援する活動を実施している。

また，南区では平成２２年度から「食育指導員」を養成し，今後，地域での食育活動を展開していく予定である。

そこで，“運動”と“食育”の両面から区民の健康づくりを力強く推進するため，「健康づくりサポーター（みなみ～ず）」，「食育指導員」などとの協働で，以下の活動を実施する。

［事業概要］

１　南区健康づくりグループ育成事業

「南区健康づくりサポーター（みなみ～ず）」による自主活動「公園での健康体操の普及～おいでやすみんなで元気になろう～」の実施場所を増やし，区民が運動に参加しやすい環境づくりに取り組む。

また，運動普及活動のサポーターを新たに養成し，運動に積極的な区民や団体を増やすことで，地域での運動習慣の定着を目指す。

２　南区食育事業

「九条ねぎ」などの京野菜を使用した小学生でも作れる簡単な南区オリジナルのレシピを区民から公募し，表彰する。

また，食育指導員などと連携し，レシピに基づく「親子クッキング教室」などを実施するとともに，「南区民ふれあいまつり」などの場で，レシピを広くＰＲし，区民の健全な「食」への関心を高める。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

南区役所

事務事業名	南区認知症サポートネットワーク形成事業		
予　算　額	500千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	福祉部福祉介護課（681－3296）		

［事業実施に至る経過・背景など］

急速な高齢化の進展に伴い，一人暮らしの高齢者や高齢者夫婦世帯のほか，認知症の高齢者を抱える世帯が増加している。

このような課題に対して，誰もが住み慣れた地域で健やかに生活できるよう，関係機関が連携し，介護・保健・福祉・医療・生活支援サービス等を一体化して提供する「地域包括ケア」体制の構築が必要である。

そこで，南区における「地域包括ケア」体制を構築する第一歩として，「認知症」をキーワードに，認知症の方とその家族が住み慣れた地域の中で暮らし続けられるよう，幅広い年齢層に「認知症」を理解していただくとともに，地域に密着したネットワークの構築に向けた取組を進める。

［事業概要］

１　「認知症サポートアドバイザー（仮称）」任命

関係機関間の連絡調整を行うため，「認知症サポートアドバイザー（仮称）」を任命し，ネットワークの構築と強化を図る。

２　「認知症あんしん相談窓口（仮称）」の掲示，相談窓口マップ作成

認知症あんしんサポートリーダーが所属している南区内の介護サービス事業所等に「認知症あんしん相談窓口（仮称）」を明示する*ステッカーを掲示する。また，同相談窓口を示したマップを作成し，関係機関等へ配布する。

＊シンボルマーク及びロゴは公募予定

３　小・中学生を対象とした「認知症あんしんサポーター養成講座」の開催

区内の小中学生を対象とした認知症あんしんサポーター養成講座を開催し，若い世代の認知症に対する理解を深める。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

南区役所

事務事業名	南区企業の“知”活用促進事業		
予　算　額	300千円	新規・継続の別	新　規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部まちづくり推進課（681－3417）		

［事業実施に至る経過・背景など］

南区内には，幅広い業種の企業の本社や工場などが集積し，「ものづくり都市・京都」の重要な一角を担っている。

しかしながら，これまで幅広い業種の企業が集積しているという南区の強みを十分に活かし切れていなかった。

そこで，企業に蓄積された“知”のうち，区民の生活に身近なものを紹介する生涯学習講座などを通じて，企業と区民が交流を深める“場づくり”を進め，企業が地域からの信頼と親しみを得て，持続的な活動を展開できる「企業と区民が共存するまち・南区」を目指す。

［事業概要］

○　企業の“知”を活用した区民向け生涯学習講座，工場見学会の開催

区内にある企業の協力を得て，その企業が有する“知”を活用した区民向けの生涯学習講座や工場見学会を開催する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

○　事業所数及び従業者数（平成２１年工業統計調査（速報値））
南区の事業所数：　　６１４箇所［京都市：２，８８８箇所］
南区の従業者数：１５，９２３人［京都市：６６，３３２人］
いずれも**京都市の中では１番目**となっている。
※従業者４人以上の事業所が調査対象

○　製造品出荷額等（平成２１年工業統計調査（速報値））
南区の製造品出荷額：約３，６４９億円［京都市：約２１，０３０億円］
伏見区，右京区に次いで，**京都市の中では３番目**となっている。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

右京区役所

事務事業名	ぐるりんこ京北		
予　算　額	１，１００千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部総務課（861－1784）		

［事業実施に至る経過・背景など］

平成２３年度から１０年間の区の基本方針となる右京区基本計画「右京かがやきプラン」では，「楽しく歩けるまち・右京」，「豊かな自然・文化を受け継ぐまち・右京」，「支えあい助けあうまち・右京」を３つの将来像としている。

その実現に向けては，３つの将来像が密接に関連しあい，計画初期段階に取り組む事業として，まちづくりに弾みをつけるプロジェクトを掲げており，その中の「楽しく歩けるまち・右京を考えるプロジェクト」では，クルマ中心の交通システムから徒歩や自転車交通，公共交通を中心とした総合的な交通システムへの転換を課題としている。

また，京都市においても「環境モデル都市」として，京都らしい「歩くまち・京都」の実現に向けて取組を進めているところである。

そのため，自転車を通して地域の新たな魅力づくりを行うとともに，身近で環境にやさしい交通システムのあり方を発信する。

［事業概要］

○　「花降る里けいほくプロジェクト」と連携しながら，従来の観光ルートとは異なり，ゆっくりと自転車で巡るサイクリングルート作りのワークショップを行い，サイクリングマップを作成する。

○　サイクリングマップとレンタサイクルを用いて，京北の見どころを自転車で散策するイベントを開催し，都心部の人に自転車の魅力を伝える。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

「花降る里けいほくプロジェクト」と連携し，京北の新たな魅力を再発見・再確認するサイクリングマップ作りを通して地域での自主的な活性化の取組に弾みをつけるとともに，自転車の魅力を発信することで「楽しく歩けるまち・右京」の推進を行う。また，山間部と都心部との交流事業を行うことで，右京区の全体の活性化にもつなげていく。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

右京区役所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">てくてく太秦</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">1，000千円</td><td>新規・継続の別</td><td>新　規</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">区民部まちづくり推進課（ 861－1264 ）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

平成２３年度から１０年間の区の基本方針となる右京区基本計画「右京かがやきプラン」では，「楽しく歩けるまち・右京」，「豊かな自然・文化を受け継ぐまち・右京」，「支えあい助けあうまち・右京」を３つの将来像としている。

更に，将来像の実現に向け，まちづくりに弾みをつける４つのプロジェクト，「次世代につながる地域に根付いた右京ライフづくりプロジェクト」，「地域の魅力・発信プロジェクト」，「楽しく歩けるまち・右京を考えるプロジェクト」，「多様な世代が安心して暮らせるまちプロジェクト」を掲げている。

太秦界隈には，広隆寺や東映太秦映画村，大映通商店街等，魅力ある観光資源が点在する一方，住宅が密集しており道路幅も狭く，幹線道路の三条通は歩行者や自転車の通行に大きな不安を抱えている。このため，住まう人も，訪れる人も，すべての人が安心して暮らせる地域づくりが求められている。

本事業は，まちづくりに弾みをつける「楽しく歩けるまち・右京を考えるプロジェクト」の取組として，太秦界隈の魅力を再発見し，楽しく歩けるルートを設定するものである。

［事業概要］

太秦界隈に住まう人たちと区役所が共汗してワークショップに取り組む。気付きと共有を重視したワークショップを重ねることで，参加者の視点を住んでいる町内から学区，そして近隣学区へと広げていくことに主眼を置く。参加者が，地域を見つめ直し再確認することで，将来にわたって住み続けたいという実感を得るとともに，観光客を温かく迎える機運の醸成を目指す。また，平成２４年度には，楽しく歩くためのガイドマップを作成し，地域に還元するだけでなく，広く市民等に提供する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

西京区役所

事務事業名	西京・地域“広報力”サポート事業 ～かわら版からホームページまで～		
予　算　額	１，300千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担　当　課	区民部総務課(381-7158)		

［事業実施に至る経過・背景など］

西京区においては，新たな「西京区基本計画」の策定を行うに当たり，各学区・地域の方々から成る「西京住民円卓会議」及び「洛西住民円卓会議」を延べ１２回開催し，まちを良くするために自分たちは何ができるのかという視点で，大変熱心に協議を積み重ねていただいたところである。

その中で，**地域コミュニティの活性化に関し，地域住民への自治会の加入促進を図る**必要性を訴える意見が数多く出され，これを踏まえ，計画に**自治会活動への理解と周知を図る広報を充実させ，自治会活動に参加しやすい仕組みづくりを進める**ことを盛り込むこととしており，新計画のスタートを機に，地域の「広報力」の充実・強化を支援する事業を実施するものである。

［事業概要］

自治会活動をはじめとする地域活動の活性化を図るうえで不可欠な地域の「広報力」の充実・強化を支援するため，各学区・地域の広報担当者等を対象とした広報紙づくり等に関する実践講座を開催するとともに，新たに広報紙やホームページ等を使って情報発信を行う**モデル地域にアドバイザーを派遣**する事業を実施する。

１　実践講座

魅力的な広報紙づくりのノウハウや，ＩＣＴ（情報通信技術）を活用した最新の情報発信手法，映像・写真の撮影・編集等について学ぶ実践講座と個別相談会を開催する。

２　アドバイザー派遣

実践講座を受講した自治会の広報担当者等が，実際に地域で新たな広報媒体等を活用して情報発信を行うに当たり，アドバイザーを地域に派遣し，広報紙やホームページ等の作成を支援する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

西京区役所洛西支所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">『洛西ニュータウン』創生のまちづくり
～住民が主役でまちの魅力を高めよう～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">１，000千円</td><td>新規・継続の別</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>局配分枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">区民部総務課（３３２－９１８５）
区民部まちづくり推進課（３３２－９３１８）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

洛西ニュータウンは，まちびらきから 30 年以上が経過し，少子・長寿化の進行やコミュニティの希薄化，サブセンターの機能低下など様々な課題に直面している。また，居住者の価値観の多様化により，居住環境に関する合意形成が困難となっている。

こうした中，今後のまちづくりの目標や課題，方策等を取りまとめた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」（平成 18 年 11 月策定）の実現に向けて，住民主体のまちづくり組織である「洛西ニュータウン創生推進委員会」が発足した（平成 19 年 6 月）。

委員会では，課題に応じた 4 つの部会を設置して議論を重ねながら，様々なまちづくりプロジェクトを効果的かつ効率的に実施し，「住んでよかった」と実感できる魅力あるまちの実現を目指した取組を進めるとともに，**住民主体の自立・持続できるまちづくり組織への移行の取組に着手している。**

［事業概要］

「洛西ニュータウン創生推進委員会」のこれまでの 4 年間の活動により，自治会，各種団体や多様なまちづくり活動団体・個人がニュータウン全体で連携するための「仕組み」が芽生え，新たな「まちづくり体制」が育ち始めている。

平成 23 年度は，これまでの取組をさらに充実させ，住民に開かれた活動を行うことにより，近い将来予想される居住環境等の課題も視野に入れて，住民相互が価値観を共有したうえで，洛西ニュータウン内 4 学区・地域全体の合意形成を図ることができるよう，**同委員会の拠点確保及び自主財源の検討並びに組織の自主運営の推進等，住民主体の自立持続できる体制づくりへの移行の取組を住民，行政，大学が連携して，さらに進めていく。**

平成１９年度予算額：１，５００千円，平成２０年度予算額：１，３１６千円
平成２１年度予算額：１，３１６千円，平成２２年度予算額：１，０００千円
平成１９～２２年度予算総額：５，１３２千円

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

洛西ニュータウン全体に関わる課題に対して，議論し，合意形成できる住民主体のまちづくり組織が存在することにより，居住環境整備をはじめとする事業実施の円滑化，調整コストの低減等の効果が期待できる。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

伏見区役所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">「伏見学連続講座」(仮称)の開講</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">２，２００千円</td><td>新規・継続の別</td><td>新規</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">伏見区役所区民部総務課(611－1295)，まちづくり推進課(611－1144)
深草支所区民部総務課(642－3125)，まちづくり推進課(642－3203)
醍醐支所区民部総務課(571－6105)，まちづくり推進課(571－6135)</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

平成２３年度から１０年間の区の基本方針となる第２期の伏見区基本計画では，区民と行政の「共汗」による取組の推進を目指しており，区民をまちづくりを担う主体と位置づけている。そのため，計画の初年度にあたる平成２３年度は，まず，区民が自らの住む伏見を「知る」ことに重点を置いた取組を展開することとし，計画の重点戦略に掲げる「魅力再発見・プロジェクト」の第１段階として，伏見区内や近隣の大学等が実施する伏見の歴史や自然，文化，産業などに関する公開講座や体験学習等を組み合わせた「伏見学連続講座」（仮称）を開講する。

また，平成２３年度は伏見区制８０周年であり，本講座はその記念事業にも位置づける。

［事業概要］

・大学等が実施する伏見に関する公開講座・体験学習への助成
・上記をパッケージ化した共同広報
・講座内容の記録及び公開（リーフレットの発行，データベースの作成）

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］

・奥深い伏見の魅力を掘り起こす講座としてインターネット等で幅広く広報することで，“ほんまもの”を求める観光客にＰＲし，伏見の観光振興に寄与する。
・本講座で集約された伏見に関する様々な情報をデータベース化することで，各地域のまちづくりに活用できる。
・参加する各大学等が保有する伏見に関する知的ストックや人的ストックの共有化を図ることができる。

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

伏見区役所深草支所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">４，000千円</td><td>新規・継続の別</td><td>継　続</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">大岩街道周辺地域環境整備課（642－3175）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

大岩街道周辺地域は，昭和４０年代から違法開発や廃棄物の埋立など様々な違法・不適正な行為が繰り返し行われ，とりわけ，昭和５０年代に始まった大規模な野外焼却による煙や悪臭は，周辺地域に深刻な被害を生じさせるなど，様々な環境問題を引き起こしてきた。

このため，本市では全庁体制の下，違法行為への強力な指導・現地監視に取り組んだ結果，大規模な野外焼却は終息し，残る課題は，当該地域の環境改善となっている。

そこで，京都市では，当該地域の環境改善を図るため，都市計画制度（地区計画）の活用によるまちづくりを進めることとし，地域住民との意見交換を経て，平成２１年に当該地域の目指すべき将来像やまちづくりの具体的な進め方を明らかにした「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」を策定した。

この方針に基づき，地域の環境改善に向けて，地域主体の自主的なまちづくりを誘導し，その取組を指導・支援することにしている。

［事業概要］

大岩街道周辺地域の環境改善に向けて，本市が平成２２年３月に策定した「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき，**廃棄物が積み上げられてできた岡田山（通称）の撤去及び都市計画制度（地区計画）の活用によるまちづくりを進めるため，事業者及び地権者に対する指導，まちづくりの専門家（コンサルタント）の派遣など，地域主体の自主的なまちづくりの取組を誘導，支援する。**

［参　考（事業効果）］

長年の課題である当該地域の環境改善に向けたまちづくりの推進

平成２３年度　京都市予算案　事業概要

伏見区役所深草支所

<table>
<tr><td>事務事業名</td><td colspan="3">深草管内商店街等活性化事業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">予　算　額</td><td rowspan="2">３，500千円</td><td>新規・継続の別</td><td>継続</td></tr>
<tr><td>未来まちづくり推進枠・局配分枠の別</td><td>未来まちづくり推進枠</td></tr>
<tr><td>担　当　課</td><td colspan="3">区民部まちづくり推進課（642－3203）</td></tr>
</table>

［事業実施に至る経過・背景など］

深草管内の深草商店街を中心とする地域は，深草地域の軸となる本町通及びその周辺に位置しており，この地域（商店街）を活性化させる（賑わいを創出する）ことは，深草地域の活性化につながると考えている。

［事業概要］

商店街が地域を支え，地域が商店街を支える関係を築き，商店街が地域に親しまれ，人が集い，少子化や長寿化社会に対応し，人のつながりを感じるまち，深草地域が住みやすく，住み続けたくなるまちを目指し，「商店街の活性化と地域の活性化を融合した深草のまちづくり」に取り組む。

そこで，実態調査や事例研究，イベント等を通じ，商店街だけでなく，深草地域全体のまちづくりの観点から，地域の中心にある商店街としての「商店街らしさづくり」や，地域密着型商店街をめざす「住民とのつながりづくり」に取り組む。

具体的には，空き店舗を活用した地域住民間の交流の拠点となる施設整備や，地域住民と協働で企画するイベント等を実施する。

［参　考（他都市の状況・事業効果など）］